

注3

大学番号：私276

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

長崎総合科学大学 工学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人長崎総合科学大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 キョウムカチョウ 教務課長 ササノコウイチ 佐々野浩一

電話番号 095-838-5308

（夜間） 095-838-5308

F A X 095-839-0584

e-mail kyomu3@NiAS.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<工学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人長崎総合科学大学

(2) 大学名

長崎総合科学大学

(3) 大学の位置

〒851-0193
長崎県長崎市網場町536

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タテイシ サトル) 立石 暁 (平成24年11月)	変更なし	
学長	(キジマ カツロウ) 貴島 勝郎 (平成21年4月)	(キノシタ タケシ) 木下 健 (平成27年4月)	任期満了に伴う選出 (平成27年4月1日) (27)
学部長	(ノセ ミキオ) 野瀬 幹夫 (平成26年4月)	(ヒラコ オサム) 平子 廉 (平成28年4月)	任期満了に伴う選出 (平成28年4月1日) (28)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 工学科 学士(工学)	工学関係	4年	150人	0人 年次	600人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	150 (-) [10]	-	0.89倍	編入学年次 (2年次(3年次))						
志願者数	240 (-) [3]	- (-) [-]	243 (1) [5]	- (-) [-]	268 (2(5)) [4]	- (-) [-]	275 (0(1)) [2]	- (-) [-]		
受験者数	240 (-) [3]	- (-) [-]	238 (1) [5]	- (-) [-]	267 (2(5)) [4]	- (-) [-]	271 (0(1)) [1]	- (-) [-]		
合格者数	213 (-) [2]	- (-) [-]	216 (1) [5]	- (-) [-]	248 (2(5)) [4]	- (-) [-]	252 (0(1)) [1]	- (-) [-]		
B 入学者数	132 (-) [2]	- (-) [-]	122 (1) [5]	- (-) [-]	138 (2(4)) [4]	- (-) [-]	141 (0(1)) [1]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.88		0.81		0.92		0.94			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	132 [2] (-)	- [-] (-)	122 [5] (-)	- [-] (-)	138 [4] (-)	- [-] (-)	141 [1] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		125 [2] (-)	- [-] (-)	117 [5] (-)	- [-] (-)	132 [4] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		123 [2] (-)	- [-] (-)	112 [5] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		121 [2] (-)	- [-] (-)	
計	132 [2] (-)		247 [7] (-)		378 [11] (-)		506 [12] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	132 人	15 人	平成26年度	8 人	0 人	授業料未納(2)就学意欲の低下(2) 他の大学機関への入学(2)就職(1)	11.36 %
			平成27年度	5 人	0 人	授業料未納(3)就学意欲の低下(1) 就職(1)	
			平成28年度	2 人	0 人	就職(2)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	122 人	12 人	平成27年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(1)他の大学機関への入 学(1)経済的理由(2)就職(1)健康上の理 由(2)	9.83 %
			平成28年度	5 人	0 人	授業料未納(2)就学意欲の低下(1)就職(1) 健康上の理由(1)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	138 人	6 人	平成28年度	6 人	0 人	他の大学機関への入学(5)就学意欲の低 下(1)	4.34 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	141 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	533 人	33 人					6.19 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

情報・キャリア科目	情報基礎	1前	2							兼4
	情報基礎演習	1前	2							兼4
情報・キャリア科目	情報科学	2前		2						兼1
	情報と社会	2後		2						兼1
情報・キャリア科目	インターンシップ	2前		2			1			兼1
	将来計画フォーラム	3通		2		±	1			兼1
共通科目系列	基礎英語 I A	1前		1						兼5
	基礎英語 I B	1前		1						兼5
共通科目系列	基礎英語 II A	1前・1後		1						兼7
	基礎英語 II B	1前・1後		1						兼7
共通科目系列	英語 I A	1後・2前		2						兼7
	英語 I B	1後・2前		2						兼7
共通科目系列	英語 II	2前・2後		2						兼5
	英語 III	2後・3前		2						兼3
共通科目系列	英会話 I	1前		1						兼1
	英会話 II	1後		1						兼1
共通科目系列	英会話 III	2前		2						兼1
	英会話 IV	2後		2						兼1
共通科目系列	英語演習 A	3前		2						兼1
	英語演習 B	3後		2						兼1
共通科目系列	日本語 I A	1前		1						兼1
	日本語 I B	1前		1						兼1
共通科目系列	日本語 II A	1後		1						兼1
	日本語 II B	1後		1						兼1
共通科目系列	日本語 III	2前		2						兼1
	日本語 IV	2後		2						兼1
共通科目系列	日本語演習 A	3前		2						兼1
	日本語演習 B	3後		2						兼1
共通科目系列	独語 I	1前		1						兼1
	独語 II	1後		1						兼1
共通科目系列	仏語 I	1前		1						兼1
	仏語 II	1後		1						兼1
共通科目系列	中国語 I A	1前		1						兼1
	中国語 I B	1前		1						兼1
共通科目系列	中国語 II A	1後		1						兼1
	中国語 II B	1後		1						兼1
専門科目系列	微分方程式	2前		2						兼1
	フーリエ変換ラプラス変換	2後		2						兼1
専門科目系列	ベクトル解析	2前		2			1			兼1
	確率・統計	2前		2						兼1
専門科目系列	代数学 A	2前		2						兼1
	代数学 B	2後		2						兼1
専門科目系列	幾何学 A	3前		2						兼1
	幾何学 B	3後		2						兼1
専門科目系列	プログラミング基礎	1後		2			1	1		兼1
	プログラミング応用	2前		2						兼2
専門科目系列	図学	1前		4			2			兼1
	職業指導 I	4前		2						兼1
専門科目系列	職業指導 II	4後		2						兼1
	工学概論	1後		2		12 10 9	2 5 6	1		担当者変更 (27) (28)
専門科目系列	技術と倫理	2後		2		12 9	2 3 6	1		担当者変更 (27) (28)
	数値計算法	3後		2			1			
専門科目系列	船舶海洋工学入門	1前		2		3 2	2	±		担当者変更 (29)
	造船幾何	1前	2				1	±		担当者変更 (29)
専門科目系列	船体構造	1後	2				1			担当者変更 (29)
	船舶数学基礎	1後		2			1	±		担当者変更 (29)

専門科目系列	専門科目	船舶工学基礎実験	2後	2	1	1	+		担当者変更 (29)
		浮体静力学	2前	2		1			
		船体復原論	2後		2		1		
		流体力学 I	2前		2	1			
		流体力学 II	2後		2	1			
		船体抵抗推進論	3前		2	1			兼1 担当者変更 (28)
		船体運動論	3後		2				兼1
		材料力学 I	2前	2			1		兼1
		材料力学 II	2後		2		1		兼1
		構造力学	3前		2	1			
		船体強度論 I	3前		2	1			
		船体強度論 II	3後		2	1			
		機械材料学	2後		2				兼1
		溶接工学	3前		2				兼1
		機械力学 I	3前		2		1		
		CAD基礎	1後		2		1		
		船舶CAD	3前		2		1		
		造船設計 I	2前	2			1	+	担当者変更 (29)
		造船設計 I 演習	2前		1		1	+	担当者変更 (29)
		造船設計 II	2後	2		1			
		造船設計 II 演習	2後		1	1			
		造船設計 III	3前	2			1		
		造船設計 III 演習	3前		1		1		
		造船設計 IV	3後	2		+	1		担当者変更 (29)
		造船設計 IV 演習	3後		1	+	1		担当者変更 (29)
		船舶設計論	4前		2				兼1
		現代造船技術論	4前		2		1		兼1 担当者変更 (27)
		海洋開発工学 I	2後		2				兼1
		海洋開発工学 II	3後		2				兼2
		操船学同演習	2前		3			+	兼1 担当者変更 (29)
		プロジェクト I	1後		2	3 2 2 2 2 2	2	+	担当者変更 (29)
		プロジェクト II	2後		2		2	+	担当者変更 (29)
		プロジェクト III	3後		2		2	+	担当者変更 (29)
		プロジェクト IV	4後		2		2	+	兼2 担当者変更 (29)
		工場学習	3前		2	2			
		材料力学 I	2前	2			1		兼1
		材料力学 II	2後		2		1		兼1
		機械材料学	2後		2				兼1
		溶接工学	3前		2				兼1
		材料強度学	3後		2				兼1
メカニズム	2前		2		1				
機械設計A	3前		2		1				
機械設計B	3後		2		1				
航空工学	3前		2		+		兼1 担当者変更 (28)		
工学フォーラム	1前		2	13 12 8	2 5	2 +	3 1 2 担当者変更 (27) (28)		
メカフォーラム I	1後		2		1	+	担当者変更 (27)		
メカフォーラム II	2前	2			1	+	+		
メカフォーラム III	3後	2			3 +	1 3	+		
機械力学 I	2前	2				1	兼4 担当者変更 (28)		
機械力学 II	2後		2			1			
計測工学	3前		2		1		兼1 担当者変更 (28)		
流体工学 I	2前	2				+	兼1 担当者変更 (28)		
流体工学 II	2後		2		1	+	担当者変更 (27)		
熱力学 I	2前	2				1			
熱力学 II	2後		2			1			

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 55	科目 249	科目 0	科目 304	科目 0 []	科目 0 []	科目 0 []	科目 0 []	

(注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{304} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	67,527㎡	㎡	㎡	67,527㎡			
	運動場用地	34,116㎡	㎡	㎡	34,116㎡			
	小 計	101,643㎡	㎡	㎡	101,643㎡			
	そ の 他	101,487㎡	㎡	㎡	101,487㎡			
	合 計	203,130㎡	㎡	㎡	203,130㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	26,976㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	26,976㎡ (㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	35室 32室	78室 79室 67室	54室 57室 59室	8室 40室 9室 (補助職員 2人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		退職教員の研究室と演習室の変更(28) 退職教員の研究室と教室等の変更(29)		
	工学部 工学科			29 35 39 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 除籍整理による減少 (28)-(29) 寄贈による増加(27) 図書 115,857 [21,933] 119,452 [21,875] 118,282 [21,347] 学術雑誌 2,046 [458] 2,045 [461] 2,044 [461] 電子ジャーナル 4,433誌 (29)
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
	工学部 工学科	63,134 [8,010] (63,446 [7,654]) (63,633 [7,657]) (63,493 [7,607]) (60,734 [7,410])	1,387 [310] (1,390 [308]) (1,362 [307])	25 [10] (2 [1]) (-0 [-0])	250 (210) (202) (224)	6 (6)	2 (2)	
	計	63,134 [8,010] (63,633 [7,657]) (63,493 [7,607]) (60,734 [7,410])	1,387 [310] (1,390 [308]) (1,362 [307])	25 [10] (2 [1]) (-0 [-0])	250 (202) (224)	6 (6)	2 (2)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,855㎡		250		171,333			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,758㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費には電子 ジャーナルの整備費 を含む
		教員1人当たり研究費等	100千円	100千円	図書購入費	1,431千円	1,931千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	9,237千円	9,237千円	9,237千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,330千円	1,150千円	1,170千円	1,190千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎総合科学大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年 次 人	人		倍			
大学院修士課程 工学研究科									
環境計画学専攻	2	10	—	20	修士 (工学)	0.3	平成9 年度	長崎県長崎市 網場町536番地	
電子情報学専攻	2	10	—	20	修士 (工学)	0.4	平成9 年度	同上	
生産技術学専攻	2	10	—	20	修士 (学術)	0.75	平成18 年度	同上	
大学院博士後期課程 工学研究科									
総合システム工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学) 博士 (学術)	0.44	平成14 年度	長崎県長崎市 網場町536番地	
工学部									
船舶工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和40 年度	長崎県長崎市 網場町536番地	平成26年4月より 学生募集停止
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和43 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和40 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
建築学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—			
工学科	4	150	—	600	学士 (工学)	0.89	平成26 年度	同上	
情報学部									
知能情報学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
経営情報学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
環境・建築学部									
人間環境学科	4	—	—	—	学士(人 間環境学)	—	平成21 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
建築学科	4	—	—	—	学士 (建築学)	—	平成21 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
総合情報学部									
総合情報学科	4	85	—	340	学士 (工学)	0.78	平成26 年度	同上	

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※ 「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※ なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

5 教員組織の状況

<工学部 工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	林田 滋 (65)	平成28年4月	将来計画フォーラム 船体抵抗推進論 プロジェクトⅢ プロジェクトⅣ 工場学習 卒業研究	兼任 兼任	准教授 教授	蒲原 新一 (46) 林田 滋 (65)	平成26年4月 平成28年4月	将来計画フォーラム 船体抵抗推進論 プロジェクトⅢ プロジェクトⅣ 工場学習 卒業研究	学生部長就任に伴う担当者変更 (28) 既設学科設置基準の教員数を充足するため28年度兼任へ配置した。(28)
兼任	教授	林田 滋 (63)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 船舶海洋工学入門 船舶工学基礎実験 流体力学Ⅰ 流体力学Ⅱ 造船設計Ⅱ 造船設計Ⅱ演習 プロジェクトⅠ プロジェクトⅡ						
専任	教授	野瀬 幹夫 (63)	平成29年4月	プロジェクトⅣ 卒業研究					工学概論 技術と倫理 船舶海洋工学入門 構造力学 船体強度論Ⅰ 船体強度論Ⅱ 造船設計Ⅳ 造船設計Ⅳ演習 プロジェクトⅠ プロジェクトⅡ プロジェクトⅢ	工学部長に選出された為兼任教員から専任教員への異動を行った。(26)
兼任	教授	野瀬 幹夫 (60)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 船舶海洋工学入門 構造力学 船体強度論Ⅰ 船体強度論Ⅱ 造船設計Ⅳ 造船設計Ⅳ演習 プロジェクトⅠ プロジェクトⅡ プロジェクトⅢ	専任	教授	野瀬 幹夫 (60)	平成26年4月	造船設計Ⅳ 造船設計Ⅳ演習 プロジェクトⅠ プロジェクトⅡ プロジェクトⅢ プロジェクトⅣ 卒業研究	
					専任	准教授	吉野 弘志 (45)	平成29年4月	造船設計Ⅳ 造船設計Ⅳ演習	吉野弘志准教授平成29年4月採用に伴う担当科目の変更 (29)
専任	教授	平子 廉 (66)	平成28年4月	メカフォーラムⅢ 内燃機関 伝熱工学 機械工学演習 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 工場実習 自動車工学【隔年】 蒸気工学【隔年】 技術者倫理 技術者コミュニケーション実習 卒業研究						
兼任	教授	平子 廉 (64)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 機械工学基礎実験 機械工学実験Ⅰ						
専任	教授	田中 義人 (56)	平成29年4月	科学技術英語 卒業研究						
兼任	教授	田中 義人 (53)	平成26年4月	電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ デジタル回路基礎 デジタル回路設計Ⅰ デジタル回路設計Ⅱ 工学フォーラム 技術と倫理 工学概論						
専任	教授	池田 雅博 (64)	平成26年4月	電気機器 エネルギー変換工学 パワーエレクトロニクスⅠ パワーエレクトロニクスⅡ 電気電子基礎実験 電気機器設計製図 工学フォーラム 技術と倫理 工学概論 科学技術英語 卒業研究 システム工学特別演習	専任 専任 専任	教授 助教 助教	松井 信正 (47) 梶原 一宏 (27) 清水 悦郎 (27)	平成27年4月 平成28年4月 平成28年4月	電気機器 エネルギー変換工学 パワーエレクトロニクスⅠ パワーエレクトロニクスⅡ 電気電子基礎実験 電気機器設計製図 工学フォーラム 技術と倫理 工学概論 科学技術英語 卒業研究 システム工学特別演習	平成27年3月池田雅博教授退職に伴い松井信正教授を後任として平成27年4月新規採用 (27) 梶原一宏助教平成28年4月採用に伴う担当科目の変更 (28) 梶原一宏助教平成29年4月講師昇格 (29) 谷山紘太郎教授平成28年3月退職に伴い清水悦郎助教を後任として平成28年4月新規採用 (28)

専任	教授	谷山 紘太郎 (73)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 工学フォーラム 人の構造及び機能 医学概論 解剖学 臨床生理学 病理学概論 臨床薬理学 基礎医学及び同実習 医学特別演習Ⅰ 医学特別演習Ⅱ 卒業研究	専任 講師 兼任	水野 裕志 (32) 本村 政勝 (58) 清水 悦郎 (27) 谷山 紘太郎 (75)	平成26年4月 平成26年4月 平成28年4月 平成28年4月	工学概論 技術と倫理 人の構造及び機能 解剖学 医学特別演習Ⅰ 工学フォーラム 医学特別演習Ⅱ 卒業研究 病理学概論 臨床薬理学 基礎医学及び同実習	谷山紘太郎教授平成28年3月退職に伴う担当者変更と清水悦郎助教を平成28年4月新規採用(28) この他の科目については複数担当があるため支障はない(28)
専任	教授	本村 政勝 (59)	平成29年4月	卒業研究					
兼任	教授	本村 政勝 (56)	平成26年4月	工学フォーラム 医学概論 臨床生理学 臨床生化学 臨床免疫学 公衆衛生学 基礎医学及び同実習 臨床医学総論Ⅲ					
専任	教授	川添 薫 (57)	平成29年4月	生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究					
兼任	教授	川添 薫 (54)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 工学フォーラム 医学概論 看護学概論 解剖学 臨床生理学 公衆衛生学 基礎医学及び同実習 関係法規 医用機器学概論 医用機器安全管理学実習 医療情報 医用治療機器学 医用治療機器学実習					
専任	教授	田中 俊彦 (60)	平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 技術と倫理 建築学海外研修 環境工学Ⅰ 環境工学Ⅱ 環境工学Ⅲ 建築設備基礎 建築設備計画 建築概論 建築学演習 建築再生論 研究ゼミナール 卒業研究	兼任	田中 俊彦 (60)	平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 技術と倫理 建築学海外研修 環境工学Ⅰ 環境工学Ⅱ 環境工学Ⅲ 建築設備基礎 建築設備計画 建築概論 建築学演習 建築再生論 研究ゼミナール 卒業研究	当初予定していた教員の退職に伴い、既設学科設置基準の教員数を充足するため26年度兼任へ配置した。(26)
専任	教授	薄 達哉 (59)	平成27年4月	技術と倫理 建築学海外研修 建築再生論 構造力学ⅡA 構造力学ⅡB 耐震設計法 鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリート構造演習 建築材料 建築材料実験 建築学演習 研究ゼミナール 卒業研究					
兼任	教授	薄 達哉 (58)	平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 構造力学Ⅰ 建築概論					
専任	教授	伴丈 正志 (59)	平成29年4月	研究ゼミナール 卒業研究	兼任	薄 達哉 (59)	平成26年4月	研究ゼミナール 卒業研究	平成26年7月伴丈正志教授退職に伴い担当科目変更(26)(27)
兼任	教授	伴丈 正志 (56)	平成26年4月	工学フォーラム 建築設計製図ⅠA 建築設計製図ⅠB 建築設計製図ⅡA 建築設計製図ⅡB 建築学海外研修 建築計画A 建築計画B 都市計画 地域計画 建築一般構造 建築概論 建築学演習	兼任 兼任 兼任 専任 兼任	李 桓 (52) 村田 明久 (64) 田中 俊彦 (61) 濱砂 博信 (64) 山田 由香里 (41)	平成26年4月 平成26年4月 平成26年4月 平成26年4月 平成26年4月	工学フォーラム 建築設計製図ⅠA 建築設計製図ⅠB 建築設計製図ⅡB 建築一般構造 建築学演習 建築計画A 建築計画B 都市計画 建築学海外研修 地域計画 建築設計製図ⅡA 建築概論	平成26年4月伴丈正志教授退職また同年7月退職に伴い科目担当者変更(26)(27)

専任	准教授	堀 勉 (55)	平成26年4月	プログラミング基礎 数値計算法 船舶海洋工学入門 浮体静力学 船体復原論 造船設計Ⅲ 造船設計Ⅲ演習 プロジェクトⅠ プロジェクトⅡ プロジェクトⅢ プロジェクトⅣ 卒業研究	専任	教授	堀 勉 (55)	平成26年4月			平成28年1月教授昇格 (28)	
専任	准教授	松岡 和彦 (43)	平成27年4月	技術と倫理 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 船舶CAD 現代造船技術論 プロジェクトⅡ プロジェクトⅢ プロジェクトⅣ 卒業研究								
兼任	准教授	松岡 和彦 (42)	平成26年4月	工学概論 船舶海洋工学入門 船体構造 CAD基礎 プロジェクトⅠ								
専任	准教授	黒田 勝彦 (46)	平成29年4月	技術者コミュニケーション実習 卒業研究	兼任	教授	黒田 勝彦 (46)	平成27年4月			平成27年4月教授昇格 (27)	
兼任	准教授	黒田 勝彦 (43)	平成26年4月	工学概論 メカニズム 機械設計A 機械設計B メカフォーラムⅢ 機械力学Ⅰ 機械力学Ⅱ 機械工学演習 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 技術者倫理	兼任	教授	黒田 勝彦 (46)	平成27年4月			平成27年4月教授昇格 (27)	
専任	准教授	谷野 忠和 (41)	平成26年4月	ベクトル解析 技術と倫理 メカフォーラムⅢ 流体工学Ⅰ 流体工学Ⅱ 機械工学基礎実験 機械工学演習 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 技術者倫理 技術者コミュニケーション実習 卒業研究	兼任	准教授	澁佐 雄一郎 (42)	平成27年4月	ベクトル解析	平成27年3月谷野准教授 退職に伴う担当者変更 (27)	平成27年4月教授昇格 (27)	
					兼任	教授	平子 廉 (66)	平成27年4月	技術と倫理 メカフォーラムⅢ 機械工学ゼミ			
					専任	准教授	松川 豊 (39)	平成27年4月	流体工学Ⅰ 機械工学演習			
					兼任	教授	山口 裕 (68)	平成27年4月	流体工学Ⅱ			
					兼任	講師	瀬戸口 俊明 (64)	平成28年4月	流体工学Ⅱ		山口裕教授平成28年3月 退職に伴う担当者変更 (28)	
					兼任	講師	谷 昇 (65)	平成27年4月	機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ			
					兼任	教授	本田 巖 (59)	平成28年4月	機械工学実験Ⅰ		平成27年6月谷昇講師辞任 および、本田巖教授平成28 年4月新規採用に伴う担当 科目の変更 (28)	
					専任	准教授	岡田 公一 (49)	平成27年4月	機械工学実験Ⅱ			
					兼任	教授	黒田 勝彦 (44)	平成27年4月	技術者倫理 卒業研究 機械工学基礎実験 技術者コミュニケーション実習			
専任	准教授	仲尾 晋一郎 (43)	平成28年4月	メカフォーラムⅢ 流体機械 機械工学演習 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 技術者倫理 技術者コミュニケーション実習 卒業研究	兼任	教授	平子 廉 (66)	平成27年4月	メカフォーラムⅢ		平成26年9月仲尾准教授 退職に伴う担当者変更 (26) (27)	平成27年4月教授昇格 (27)
					兼任	教授	山口 裕 (68)	平成27年4月	流体機械			
					兼任	講師	木上 洋一 (48)	平成28年4月	流体機械		山口裕教授平成28年3月 退職に伴う担当者変更 (28)	
					兼任	教授	黒田 勝彦 (44)	平成27年4月	技術者倫理 卒業研究 機械工学基礎実験 技術者コミュニケーション実習		この他の科目については担 当者が複数いるため支障は ない (28)	
兼任	准教授	仲尾 晋一郎 (41)	平成26年4月	技術と倫理 工学フォーラム メカフォーラムⅠ メカフォーラムⅡ 機械製図 船舶CAD 機械工学基礎実験 機械工学実験Ⅰ 技術英語	兼任	教授	黒田 勝彦 (44)	平成27年4月	技術と倫理 メカフォーラムⅡ		平成27年4月教授昇格 (27)	
					兼任	教授	平子 廉 (66)	平成27年4月	工学フォーラム 技術英語			
					専任	准教授	松川 豊 (39)	平成27年4月	メカフォーラムⅠ		平成26年9月仲尾准教授 退職に伴う担当者変更 (26) (27)	
					兼任	准教授	岡田 公一 (48)	平成27年4月	機械製図 船舶CAD 機械工学実験Ⅰ			
					兼任	講師	谷 昇 (65)	平成27年4月	機械工学基礎実験		平成27年6月谷昇講師辞任 に伴う変更 (28)	
					兼任	教授	本田 巖 (59)	平成28年4月	機械工学基礎実験		兼任から兼任へ担当科目の 変更 (28)	

専任	准教授	松川 豊 (39)	平成27年4月	熱力学Ⅰ 熱力学Ⅱ 新エネルギー工学 航空工学 機械工学演習 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 航空機設計法 技術者倫理 技術者コミュニケーション実習 卒業研究	兼任	講師	麻生 茂 (62)	平成28年4月	航空工学 航空機設計法	平成28年3月山口裕教授退職に伴い担当科目の変更 (28)
兼任	准教授	松川 豊 (38)	平成26年4月	工学概論※ 機械と物理						
専任	准教授	房安 貴弘 (42)	平成27年4月	電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 電磁気学Ⅲ 電気電子計測 電磁波工学 技術と倫理 科学技術英語 卒業研究	専任	教授	後任未定 大山 健 (43)	平成26年10月	電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 電磁気学Ⅲ 電気電子計測 電磁波工学 技術と倫理 科学技術英語 卒業研究	平成26年3月房安准教授退職のため(26) 大山健教授を平成26年10月採用(27)
兼任	准教授	房安 貴弘 (41)	平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ	専任 兼任 兼任	教授 教授 講師 講師	奥野 公夫(65) 野瀬 幹夫(60) 房安 貴弘(41) 房安 貴弘(41)	平成26年4月 平成26年4月 平成26年4月 平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ	平成26年3月房安准教授退職のため平成26年4月より担当者の変更(26)
専任	准教授	伊東山 勤 (39)	平成27年4月	技術と倫理 医用機器学概論 呼吸療法装置 呼吸療法装置実習 血液浄化装置 血液浄化装置実習 医用治療機器学 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 体外循環装置 体外循環装置実習 医用工学特別演習 卒業研究	兼任 兼任 専任 兼任 兼任 専任	教授 教授 助教 講師 教授 助教	黒田 勝彦 (44) 本村 政勝 (56) 池 浩司 (32) 山口 雅史 (54) 本村 政勝 (58) 後任未定 清水 悦郎 (25)	平成27年4月 平成26年4月 平成27年5月 平成27年4月 平成27年4月 平成28年4月	技術と倫理 技術と倫理 呼吸療法装置 呼吸療法装置実習 生体計測装置学実習 医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学実習 卒業研究 血液浄化装置 血液浄化装置実習 体外循環装置 体外循環装置実習 卒業研究 医用工学特別演習	平成27年4月教授昇格(27) 伊東山准教授平成27年3月退職による担当者変更(27)(28) 伊東山准教授平成27年3月退職により平成27年5月採用(27)(28) 伊東山准教授平成27年3月退職による担当者変更(27) 伊東山准教授平成27年3月退職による担当者変更(27) 次年度以降の開講科目であるため平成27年度中に担当者を決定する。(27) 平成28年4月清水悦郎助教採用(28)
兼任	准教授	伊東山 勤 (58)	平成26年4月	工学概論 工学フォーラム	兼任 専任	教授 助教	本村 政勝 (58) 池 浩司 (32)	平成27年4月 平成27年5月	工学概論 工学フォーラム 工学フォーラム	伊東山准教授平成27年3月退職による担当者変更(27)(28)
専任	准教授	濱砂 博信 (63)	平成26年4月	図学 工学フォーラム 建築製図A 建築製図B 建築設計製図ⅠB 建築設計製図ⅡA 建築設計製図ⅡB 建築学海外研修 建築概論 建築学演習 建築CAD 建築測量 研究ゼミナール 卒業研究	兼任 専任 兼任	講師 教授 教授	濱砂 博信 (65) 山田 由香里 (42) 山田 裕巳 (50)	平成28年4月 平成28年4月 平成28年4月	建築測量 建築設計製図ⅠB 建築設計製図ⅡA 工学フォーラム 建築設計製図ⅡB 建築CAD 研究ゼミナール 卒業研究	平成28年3月濱砂博信准教授退職。平成28年4月山田裕巳教授採用に伴う担当科目の変更。他の科目については、担当教員が複数いるので支障はない。(28)
専任	准教授	山田 由香里 (42) (馬場 由香里)	平成28年4月	建築学海外研修 建築再生論 建築意匠 西洋建築史 日本建築史 住生活文化論 研究ゼミナール 卒業研究	専任	教授	山田 由香里 (42) (馬場 由香里)	平成28年4月		平成28年1月教授昇格(28)
兼任	准教授	山田 由香里 (40) (馬場 由香里)	平成26年4月	図学 工学概論 技術と倫理 工学フォーラム 建築学演習 建築製図A 建築製図B 建築設計製図ⅠA 建築概論						

専任	講師	脇山 祐介 (60)	平成26年4月	船舶海洋工学入門 造船幾何 船舶数学基礎 船舶工学基礎実験 造船設計 I 造船設計 I 演習 操船学同演習 プロジェクト I プロジェクト II プロジェクト III プロジェクト IV 卒業研究	専任 准教授	古野 弘志 (45)	平成29年4月	船舶海洋工学入門 造船幾何 船舶数学基礎 船舶工学基礎実験 プロジェクト I プロジェクト II プロジェクト III プロジェクト IV 卒業研究	平成29年3月脇山祐介講師退職に伴い古野弘志准教授を後任として平成29年4月新規採用 (29)
専任	講師	清山 浩司 (36)	平成26年4月	電気工学基礎 II 集積システム設計 電子工学基礎 アナログ回路 I アナログ回路 II 半導体デバイス I 半導体デバイス II 電気電子工学実験 I 電気電子工学実験 II 工学フォーラム※ プログラミング基礎 電子回路 科学技術英語 卒業研究	専任 兼任	清山 浩司 (36) 辻 峰男 (61)	平成28年4月	電子回路	平成25年7月准教授昇格 (26) 梶原一宏助教平成28年4月採用に伴う担当科目の変更、および専任から兼任への変更 (28)
専任	助教	田中 僚 (38)	平成28年4月	送配電工学 I 送配電工学 II 電気・電子材料 電気電子工学実験 I 電気電子工学実験 II 科学技術英語 卒業研究	兼任 兼任 兼任 専任 専任	宮副 文雄 (68) 後任未定 田中 義人 (55) 奥野 公夫 (66) 松井 信正 (47) 梶原 一宏 (27)	平成27年4月 平成27年4月 平成27年10月 平成27年4月 平成28年4月	送配電工学 I 送配電工学 II 電気電子工学実験 I 電気電子工学実験 II 電気・電子材料 科学技術英語 卒業研究 電気・電子材料 送配電工学 I 送配電工学 II 電気電子工学実験 I 電気電子工学実験 II 電気・電子材料	平成27年4月田中僚助教退職に伴う科目担当者変更。「電気・電子材料」については、9月実施に備え兼任教員を7月までに採用予定。(27) 兼任から兼任へ変更 (28) 梶原一宏助教平成28年4月新規採用に伴い担当科目の変更、および兼任から専任への変更 (28) 梶原一宏助教平成29年4月講師昇格 (29)
兼任	助教	田中 僚 (36)	平成26年4月	電気回路 III 電気工学基礎 I 工学フォーラム	兼任	田中 義人 (55)	平成27年4月	電気回路 III 電気工学基礎 I 工学フォーラム	平成27年4月田中僚助教退職に伴う科目担当者変更 (27)
専任	助教	水野 裕志 (32)	平成26年4月	工学フォーラム 電気電子基礎実験 医用材料工学 生体物性工学 医用機械工学 医用工学概論 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 卒業研究	専任 専任 専任	水野 裕志 (32) 池 浩司 (32) 清水 悦郎 (28)	平成27年4月 平成28年4月	電気電子基礎実験 電気電子基礎実験	平成25年7月講師昇格 (26) 平成28年4月清水悦郎助教採用に伴う担当科目の変更 (28)
兼任	教授	谷 昇 (65)	平成26年4月	力学 I 力学 II 熱力学 電磁気学 インターンシップ	兼任 兼任 専任	谷 昇 (66) 加藤 貴 (44) 堀 勉 (57)	平成27年4月 平成27年4月 平成27年4月	力学 I 力学 II 熱力学 電磁気学 インターンシップ	谷教授平成27年3月退職により平成27年4月から兼任へ兼任となる。(27) 平成27年6月谷昇講師辞任に伴う変更 (28) 谷昇教授平成27年3月退職による担当者変更 (27)
兼任	教授	劉 震 (54)	平成26年4月	情報基礎 情報基礎演習 プログラミング応用 情報科学 コンピュータシステム 情報工学 情報工学演習	専任	清水 悦郎 (27)	平成28年4月	情報工学演習	清水悦郎助教平成28年4月採用に伴い担当科目の変更、および兼任から専任へ担当科目の変更 (28)
兼任	教授	池末 純一 (64)	平成26年4月	情報基礎 情報基礎演習	兼任	横井 聖宏 (30)	平成27年4月	情報基礎 情報基礎演習	平成27年3月池末教授辞任のため横井助教採用 (27)
兼任	教授	榎 燦益 (66)	平成28年4月	船体運動論 現代造船技術論	兼任 兼任 専任	池上 国広 (69) 池上 国広 (70) 松岡 和彦 (44)	平成27年4月 平成28年4月 平成27年4月	船体運動論 船体運動論 現代造船技術論	榎燦益教授平成27年3月退職による担当者変更 (27) 池上国広教授平成28年3月退職に伴い兼任から兼任へ担当科目の変更 (28)
兼任	教授	池上 国広 (67)	平成27年4月	海洋開発工学 I 海洋開発工学 II	兼任	池上 国広 (70)	平成28年4月	海洋開発工学 I 海洋開発工学 II	池上国広教授平成28年3月退職により兼任から兼任へ担当科目の変更 (28)
兼任	教授	Brian Burke-Gaffney (65)	平成28年4月	機械と国際化					

兼任	教授	村田 明久 (64)	平成27年4月	建築設計製図ⅠA 建築設計製図ⅠB 建築設計製図ⅡA 建築設計製図ⅡB						平成28年3月村田明久教授 平成28年3月退職。担当教員が複数いるため支障はない。(28)
兼任	教授	横山 正人 (65)	平成28年4月	医療情報	兼任 兼任	教授 教授	杉原 敏夫 (71) 川添 薫 (55)	平成27年4月 平成27年4月	医療情報 医療情報	横山教授平成27年3月退職 による変更、2名で分担 (27)
兼任	准教授	長 良夫 (58)	平成26年4月	基礎数学 微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 微分積分学Ⅲ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 代数学A 代数学B						
兼任	准教授	加藤 貴 (43)	平成26年4月	力学Ⅰ 力学Ⅱ 熱力学 電磁気学 機械工学基礎実験	兼任	教授	加藤 貴 (44)	平成27年4月		平成27年4月教授昇格(27)
兼任	講師	三田 淳司 (49)	平成26年4月	情報基礎 情報基礎演習 プログラミング基礎 プログラミング応用 情報と社会						
兼任	講師	蒲原 新一 (44)	平成26年4月	情報基礎 情報基礎演習	兼任	准教授	蒲原 新一 (46)	平成26年4月		平成28年4月准教授昇格 (28)
兼任	講師	佐藤 雅紀 (39)	平成28年4月	制御工学 計測工学 メカトロニクス	専任	教授	松井 信正 (47)	平成27年4月	制御工学	兼任から専任へ担当科目の 変更 (28)
兼任	講師	佐藤 雅紀 (39)	平成28年4月		兼任	准教授	佐藤 雅紀 (39)	平成28年4月		平成28年4月准教授昇格 (28)
兼任	講師	中村 昌彦 (58)	平成28年4月	海洋開発工学Ⅱ						
兼任	講師	豊福 正史 (50)	平成29年4月	船舶設計論						
兼任	講師	高 允宝 (66)	平成27年4月	材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械材料学 溶接工学 材料強度学	兼任 兼任	准教授 講師	岡田 公一 (48) 多田 益男 (62) 河野 隆之 (67)	平成27年4月 平成27年4月 平成27年4月	材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 材料強度学 機械材料学 溶接工学	高允宝教授平成27年4月 退職による担当者変更 (27)
兼任	講師	諸星 彰三 (62)	平成28年4月	トライボロジー						
兼任	講師	井上 克明 (60)	平成27年4月	機械設計製図						
兼任	講師	藤本 孝文 (45)	平成28年4月	情報通信工学Ⅰ 情報通信工学Ⅱ						
兼任	講師	尾崎 誠一 (69)	平成28年4月	電気電子工学実験Ⅰ 電気電子工学実験Ⅱ						
兼任	講師	久芳 信二 (48)	平成29年4月	電気法規・電気施設管理						
兼任	講師	横田 賢一 (54)	平成29年4月	電波法規						
兼任	講師	松村 雅史 (55)	平成27年4月	医用計測工学 生体計測装置学	専任	講師	水野 裕志 (32)	平成26年4月	生体計測装置学	兼任から専任へ担当科目の 変更 (28)
兼任	講師	岩橋 正國 (60)	平成27年4月	システム工学	専任	助教	清水 悦郎 (27)	平成28年4月	システム工学	清水悦郎助教平成28年4月 採用に伴い担当科目の変更、 および兼任から専任へ 変更 (28)
兼任	講師	水田 陽平 (56)	平成27年4月	臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ	兼任 兼任 兼任	講師 教授 講師	水田 陽平 (57) 本村 政勝 (58) 松岡 弘親 (58)	平成27年4月 平成27年4月 平成28年4月	臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ 臨床医学総論Ⅱ	時間割の調整に伴う担当 科目の変更 (27) 兼任から兼任へ担当科目の 変更 (28)
兼任	講師	木村 喜久雄 (71)	平成27年4月	放射線工学概論	兼任 兼任 兼任	講師 教授 教授	上谷 雅孝 (58) 森川 一実 (52) 川添 薫 (56)	平成27年4月 平成27年4月 平成26年4月	放射線工学概論 放射線工学概論 放射線工学概論	木村喜久雄講師平成26年1 1月就任辞退に伴う担当者 変更、2名で分担(27) 兼任を追加し3名で分担 (28) 専任2名に担当者変更 (29)
兼任	講師	川添 薫 (56)	平成26年4月		専任	教授	川添 薫 (57)	平成29年4月	放射線工学概論	
兼任	講師	清水 悦郎 (28)	平成28年4月		専任	助教	清水 悦郎 (28)	平成28年4月	放射線工学概論	
兼任	講師	中島 秀明 (60)	平成26年4月	造形デザイン						
兼任	講師	川崎 薫 (60)	平成27年4月	構造計画						
兼任	講師	玉井 宏章 (53)	平成28年4月	鋼構造 鋼構造演習						
兼任	講師	中村 和利 (57)	平成28年4月	建築施工						
兼任	講師	松尾 強 (58)	平成28年4月	建築設計製図S A 建築設計製図S B	兼任	講師	一丸 康貴 (30)	平成29年4月	建築設計製図S A 建築設計製図S B	担当授業科目の変更 (29)
兼任	講師	森 勝則 (58)	平成28年4月	建築設計製図S A 建築設計製図S B	兼任	講師	福島 智子 (47)	平成29年4月	建築設計製図S A 建築設計製図S B	担当授業科目の変更 (29)

兼任	講師	佐々木 信明 (56)	平成28年4月	建築設計製図 S A 建築設計製図 S B						
兼任	講師	鈴山 弘祐 (58)	平成28年4月	現代建築事情						
兼任	講師	嶋崎 浩樹 (38)	平成28年4月	現代建築事情	兼任	講師	小川 敏枝 (47)	平成29年4月	現代建築事情	担当授業科目の変更 (29)
兼任	講師	三好 定和 (59)	平成28年4月	現代建築事情	兼任	講師	前澤 佑輔 (30)	平成29年4月	現代建築事情	担当授業科目の変更 (29)
兼任	講師	村元 俊夫 (61)	平成28年4月	建築法規						

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	藤原 豪 (65)	平成26年4月	基礎数学 微分積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 幾何学A 幾何学B	兼任	講師	藤原 豪 (65)	平成26年4月	基礎数学 微分積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 幾何学A 幾何学B	藤原教授平成26年3月退職により平成26年4月から兼任→兼任となる。(26)
兼任	教授	日當 明男 (54)	平成26年4月	微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ	兼任	教授	影本 浩 (61)	平成28年4月	微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ	影本浩教授平成28年4月新規採用に伴う担当科目の変更(28)
兼任	教授	横手 一彦 (54)	平成26年4月	大学生入門 ながさきを学ぶ ことばと映像 近代日本文学 日本文化論 人文科学ゼミⅠ 人文科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ	兼任	教授	Brian Burke-Gaffney (65)	平成28年4月	ながさきを学ぶ	平成28年3月横手一彦教授退職による担当者変更。他の科目については、担当教員が複数いるので支障はない。(28)
					兼任	講師	上出 恵子 (63)	平成28年4月	ことばと映像	
					兼任	准教授	木永 勝也 (58)	平成27年4月	日本文化論	
					兼任	講師	長野 秀樹 (58)	平成28年4月	近代日本文学	
					兼任	講師	上出 恵子 (64)	平成29年4月	近代日本文学	担当授業科目の変更(29)
兼任	教授	木村 博 (59)	平成26年4月	大学生入門 平和を学ぶ 哲学 批判的思考法 人文科学ゼミⅠ 人文科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ	兼任	教授	吉藤 恒太郎 (66)	平成27年4月	哲学	平成26年8月木村博教授退職による担当者変更。他の科目については、担当教員が複数いるので支障はない。(27)
					兼任	准教授	木永 勝也 (58)	平成27年4月	批判的思考法	
					兼任	講師	関谷 融 (56)	平成28年4月	哲学	兼任から兼任へ担当者変更(28)
					兼任	講師	古川 直子 (34)	平成29年4月	哲学	兼任から兼任へ担当者変更(29)
兼任	教授	村田 義幸 (69)	平成26年4月	心理学 人間関係論						
兼任	准教授	澁佐 雄一郎 (40)	平成26年4月	微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 微分積分学Ⅲ ベクトル解析 力学Ⅰ 力学Ⅱ 熱力学 電磁気学	兼任	教授	澁佐 雄一郎 (42)	平成26年4月		平成28年1月教授昇格(28)
兼任	准教授	芝野 由和 (64)	平成26年4月	大学生入門 平和を学ぶ 政治学基礎 現代政治 国際関係論 社会科学ゼミⅠ 社会科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ	兼任	講師	芝野 由和 (64)	平成27年4月	平和を学ぶ 政治学基礎 現代政治 国際関係論	芝野由和准教授平成27年3月退職により平成27年4月から兼任→兼任となる。他の科目については、担当教員が複数いるので支障はない。(27)
					兼任	准教授	柴田 守 (37)	平成27年4月	社会科学ゼミⅠ	
兼任	准教授	木永 勝也 (56)	平成26年4月	大学生入門 平和を学ぶ 日本事情概論 歴史学 近現代史 現代社会を考える 人文科学ゼミⅠ 人文科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ						
兼任	准教授	澁谷 顕一 (41)	平成26年4月	大学生入門 健康の科学 保健体育実技A 保健体育実技B	兼任	講師	関 隆三 (70) 後任未定	平成27年4月	保健体育実技A 健康の科学 保健体育実技B	澁谷顕一准教授平成27年3月退職により平成27年4月から担当者変更「健康の科学」「保健体育実技A」の後任は平成27年度前期中に採用予定「大学生入門」は担当教員が複数いるので支障はない。(27)未定分の決定(28)
					兼任	講師	小原 達朗 (65)	平成27年10月	健康の科学	
					兼任	講師	前門 孝志 (64)	平成27年10月	保健体育実技A 保健体育実技B	
兼任	准教授	上野 誠司 (51)	平成26年4月	基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠB 基礎英語ⅡA 基礎英語ⅡB 英語ⅠA 英語ⅠB 英語演習A						
兼任	准教授	山田 聖剛 (61)	平成26年4月	基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠB 基礎英語ⅡA 基礎英語ⅡB 英語ⅠA 英語ⅠB 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語演習B	兼任	教授	若林 節子 (68)	平成28年4月	基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠB 基礎英語ⅡA 基礎英語ⅡB 英語ⅠA 英語ⅠB 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語演習B	山田聖剛准教授平成28年3月退職に伴い若林節子教授平成28年4月採用(28)

兼任	准教授	小川 保博 (64)	平成26年4月	独語 I 独語 II 基礎英語 I B 基礎英語 II A 基礎英語 II B 英語 I A 英語 I B 英語 III 大学生入門	兼任	講師	小川 保博 (65)	平成27年4月	独語 I 独語 II 基礎英語 II A 英語 III	小川保博准教授平成27年3月退職により平成27年4月から兼任→兼任となる。他の科目については、担当教員が複数いるので支障はない。(27)
兼任	准教授	百田 みち子 (65)	平成26年4月	仏語 I 仏語 II	兼任	講師	百田 みち子 (65)	平成26年4月	仏語 I 仏語 II	百田准教授平成26年3月退職に伴い平成26年4月から兼任→兼任となる。(26)
兼任	講師	佐藤 雄一郎 (41)	平成26年4月	大学生入門 憲法 I 憲法 II 法学入門 現代社会と法 人文科学ゼミ I 人文科学ゼミ II 総合問題ゼミ I 総合問題ゼミ II	兼任	准教授	柴田 守 (37)	平成25年10月	大学生入門 憲法 I 憲法 II 法学入門 現代社会と法 人文科学ゼミ I 人文科学ゼミ II 総合問題ゼミ I 総合問題ゼミ II	佐藤講師平成25年9月退職に伴い柴田准教授を後任として平成25年10月採用(26)
兼任	講師	桑戸 孝子 (52)	平成26年4月	日本語 I A 日本語 I B 日本語 II A 日本語 II B 日本語 III 日本語 IV 日本語演習 A 日本語演習 B						
兼任	講師	藤井 光廣 (70)	平成26年4月	力学 I 力学 II			後任未定			クラス数を減少し兼任教員が担当(28)
兼任	講師	村田 嘉弘 (58)	平成26年4月	線形代数学 I 線形代数学 II 微分方程式 フーリエ変換ラプラス変換						
兼任	講師	原澤 隆一 (39)	平成26年4月	線形代数学 I 線形代数学 II						
兼任	講師	丸山 幸宏 (55)	平成26年4月	線形代数学 I 線形代数学 II						
兼任	講師	植野 貴之 (39)	平成27年4月	確率・統計	兼任	講師	山口 朝彦 (46)	平成27年4月		植野貴之講師平成26年11月就任辞退に伴う担当者変更。(27)
兼任	講師	山下 達也 (32)	平成26年4月	教育学 現代社会と教育						
兼任	講師	小島居 伸介 (52)	平成26年4月	文化人類学 【3年に2度開講】						
兼任	講師	国武 雅子 (52)	平成26年4月	女性学 【3年に2度開講】	兼任	講師	古川 直子 (34)	平成29年4月	女性学	兼任から兼任→担当者変更(29)
兼任	講師	前田 陽次郎 (43)	平成27年4月	経済学 【3年に2度開講】						
兼任	講師	関 隆三 (69)	平成26年4月	保健体育実技 A 保健体育実技 B	兼任	講師	前門 孝志 (64)	平成27年10月		担当者変更(28)
兼任	講師	前門 富美子 (58)	平成26年4月	保健体育実技 A						
兼任	講師	前川 智子 (66)	平成26年4月	基礎英語 I B 基礎英語 II B 英語 I B 英語 II	兼任	講師	中野一洋子 (67)	平成28年4月	基礎英語 I B 基礎英語 II B	担当者変更(28)
					兼任	准教授	上野 誠司 (54)	平成26年4月	基礎英語 I B 基礎英語 II B	担当授業科目の変更(29)
					兼任	講師	小田 尚子 (60)	平成29年4月	英語 I B 英語 II	担当授業科目の変更(29)
兼任	講師	三縄 順子 (60)	平成26年4月	基礎英語 I A 基礎英語 II A 英語 I A 英語 I B 英語 III	兼任	教授	若林 節子 (69)	平成28年4月	基礎英語 I A 基礎英語 II A 英語 III	担当授業科目の変更(29)
					兼任	講師	小田 尚子 (60)	平成29年4月	英語 I A 英語 I B	担当授業科目の変更(29)
兼任	講師	南川 真知子 (61)	平成26年4月	基礎英語 I B 基礎英語 II B 英語 I B 英語 II						
兼任	講師	濱崎 大 (40)	平成26年4月	基礎英語 I A 基礎英語 II A 基礎英語 II B 英語 I A 英語 II	兼任	准教授	上野 誠司 (54)	平成26年4月	基礎英語 I A 基礎英語 II A 基礎英語 II B	担当授業科目の変更(29)
					兼任	講師	白水 桂子 (53)	平成29年4月	英語 I A	担当授業科目の変更(29)
					兼任	講師	小田 尚子 (60)	平成29年4月	英語 II	担当授業科目の変更(29)
兼任	講師	Pascal Yamak Yakuzan (59)	平成26年4月	基礎英語 I A 基礎英語 II A 基礎英語 II B 英語 I A 英語 I B 英語 II						
兼任	講師	Danny James Louviere (58)	平成26年4月	基礎英語 II A 英語 I A 英会話 III 英会話 IV	兼任	講師	アンドリュー クリアムス (50)	平成28年4月	基礎英語 II A 英語 I A 英会話 III 英会話 IV	担当者変更(28)
兼任	講師	糸山 景大 (70)	平成29年4月	職業指導 I 職業指導 II						

兼任	講師	笹田 和子 (40)	平成26年4月	中国語 I A 中国語 I B 中国語 II A 中国語 II B						
兼任	講師	Larryjuu Acosta (36)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II	兼任	教授	若林 節子 (68)	平成28年4月	英会話 I 英会話 II	若林節子教授平成28年4月 新規採用採用に伴い変更 (28)
					兼任	教授	上園 恒太郎 (65)	平成26年4月	教育学 現代社会と教育	教員免許状の種類増加に よる教職課程教員の増員 (26)
					兼任	講師	湯田 拓史 (40)	平成28年4月	現代社会と教育	兼任から兼任へ担当者変更 (28)

- (注)・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
16 名	8 名

・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
11	10	2	2	25	15	6	2	2	25	15	6	2	2	25
(2)	(1)	(0)	(1)	(4)						[4]	[Δ4]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用している教員数
63 歳	2 名	4 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				

合計 (A)		後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
3	講師	脇山 祐介	選択	船舶海洋工学入門	①	定年による退職 (29)	
			必修	造船幾何	①		
			選択	船舶数学基礎	①		
			選択	船舶工学基礎実験	①		
			必修	造船設計Ⅰ	①		
			選択	造船設計Ⅰ演習	①		
			選択	操船学同演習	②		
			選択	プロジェクトⅠ	①		
			選択	プロジェクトⅡ	①		
			選択	プロジェクトⅢ	①		
			必修	卒業研究	①		
合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	8 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	11 科目	計	1 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(A) + (C)			後任補充状況の集計(B) + (D)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	8	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	11	科目	計	1	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 退職した講師が担当していた科目については、他の専任教員と引き続き退職した講師が兼任教員として担当しているため履修への影響はない。
- ・ 学生へは4月に行われるオリエンテーションで直接伝えると共に、配布される履修ガイドで科目担当者が変更していることは確認できている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (26年4月)	該当なし	留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	平成29年度改組完成年度に向けて、教員組織編製の将来構想をすでに策定しており、これに基づき、定年を超える教員の若返りを図っている。すなわち、平成26年5月1日現在の工学部教員の平均年齢は53.97歳であるが、定年（63歳）を超える教員5名の年度末退職とそれに伴う2名の若手教員の採用により、平成27年4月1日現在で教員の平均年齢が53.07歳となり、定年を超える専任教員の割合を低下させており、改善進行中である。なお、定年退職した者は、定年を超える雇用に関する規程に基づき、65歳まで継続雇用することとしている。	平成27年度5月1日付で医療工学コースに若手教員を採用した。他のコースも改組の年次計画に従って、定年を超える専任教員数の割合を低下させ若手教員を採用し改善につとめる。
設置計画履行状況 調 査 時 (27年5月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	改組完成年度を迎えるにあたり、教員組織編製の将来構想をすでに策定しており、これに基づき退職年齢を超える教員については、計画的に減少を図っているところである。なお、定年退職した者は、定年を超える雇用に関する規程に基づき、65歳まで継続雇用することとしている。	平成29年3月31日付の定年退職者1名の後任として、平成29年4月1日付で若手教員を採用した。今後も将来構想に基づき計画的に退職年齢を超える専任教員の割合を低下させ、改善につとめる。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

7 その他全般的事項

<工学部 工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務専門委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として毎月1回（除く8月）開催、各コースから1名（計8名）、共通教育から4名、教職課程から1名、情報科学センター運営委員会から1名（重複可）、教務部長、教務課長で構成 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務関係全般の事項 ・授業評価アンケートの実施についてまたその結果の分析について ・授業評価アンケートの質問項目の検討について ・FD研修会の実施内容について（教務関係） ・研究授業参観について ・教育改革について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート年2回（前期、後期各1回） ・FD研修会平成28年度6回開催（うち教務に関する内容4回） ・研究授業参観年1回 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート（選択方式、自由記述含む）結果を報告書として冊子体にまとめている。 ・FD研修会（スクール方式、質疑応答有） ・研究授業参観は各コースや共通部門より対象とする科目を抽出してもらい参観希望者を募り実施する。実施後は各自に報告書を提出させる。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートは専任教員全員及び非常勤講師全員の科目で実施する。 ・FD研修会は平成28年度は6回実施（うち教務関係4回）し、出席者の平均は35名だった。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートは結果を報告書としてまとめ、学生にも閲覧できるようにしている。また、学生からの評価の低い項目については改善点の報告を求めている。 ・FD研修会では指導方法の研修だけではなく、全学的に一致した認識が必要なもの、例えば、発達障害に関する情報や教職課程にかかわる法令の改正、研究倫理などについての勉強会等も行い、授業改善への取組の参考にするべく開催している。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回実施（前期、後期各1回） <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書を作成し、教員全員に配布。各コースの事務室に配布し学生が自由に閲覧できるようにしている。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 別紙通り</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成26年6月 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・「自己点検評価書」という冊子を刊行し、学内に配布済。・大学ホームページ上に公開済 <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成26年度に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の認証評価を受審し、平成27年3月10日付で認定証を受け取った。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (29年 6月 1日)</p>
--

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学部工学科（船舶工学コース・機械工学コース・建築学コース・電気電子工学コース・医療工学コース）は、平成29年度で開設4年目を迎えた。

本年度の入学状況については、高校卒業者の数が減少する中で、工学部の志願者数は前年度より7名増加し、それに伴い入学者数は、3名の増加となった。その結果、定員充足率も2ポイント程上昇し、定員充足まであと僅かに6ポイントまで改善した。これは、様々な要因が考えられるが、専門をきわめ、他分野も広く学べるというコース制のメリットや大学内の教育の改善や研究の充実などが受験生に浸透しつつあることが最大の原因と考えられる。今後、高校訪問や高校生向けの講演会等で更なる周知に努め、より多くの受験生に大学の良さを伝えるべく努力をする。

授業科目については、設置年度である平成26年度の1年次に設置されている共通科目、専門科目は全て計画どおり開講され、設置2年目の平成27年度の2年次に設置されている共通科目、専門科目も全て計画どおり開講された。また、設置3年目の平成28年度の3年次に設置されている共通科目、専門科目も全て計画どおり開講された。

教員については、昨年度に専任教員が1名定年退職したが、新規に1名を採用し、専任教員数に変更はなく、当初の予定どおりに授業計画を進めていく。教員の年齢構成については定年後の教員の割合を人事計画に従って実施し、若返りを図っている。

設置後4年目が始まり、今年度で改組の完成年度となるが、授業もさらに本格的に専門分野に入っていく段階であるが、特に混乱もなく授業計画は予定どおり履行されており、今後も計画に沿って進めて行く。完成年度までに成果が得られるよう取り組んでいきたい。

当面の最大の課題は、入学定員の充足であり、今年度も昨年度と同様に入学者数の増大に向けて本学の学生、父母の満足度の向上を図り、全ステークホルダーに対して教職員が一丸となって募集・広報活動を展開して行く。

長崎総合科学大学 教務専門委員会規程

第1条 (設 置)

本学の教務に関する事項を協議するため、全学教授会規程第9条第2項の規定に基づき、教務専門委員会（以下、「専門委員会」という。）を置く。

第2条 (協議事項)

専門委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 学生の入学及び卒業に関すること。
- (2) 学位の授与に関すること。
- (3) 科目等履修生、聴講生及び研究生に関すること。
- (4) カリキュラム及び時間割に関すること。
- (5) シラバス及び履修ガイドに関すること。
- (6) 授業科目の種類、単位及び単位認定に関すること。
- (7) 大学の年間授業日程に関すること。
- (8) 受講登録及び試験に関すること。
- (9) 教育研究集会に関すること。
- (10) 授業評価アンケートに関すること。
- (11) 学則及び教務関係規程に関すること。
- (12) 学長又は全学教授会から諮問を受けた事項に関すること。

第3条 (組 織)

専門委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。ただし、第5号については第1号から第4号のいずれかの者が兼ねることができる。

- (1) 教務部長
- (2) 各コースより選出された教員 8名
- (3) 共通教育部門より選出された教員 4名
- (4) 教職課程より選出された教員 1名
- (5) 情報科学センター運営委員会より選出された教員 1名
- (6) 教務課長
- (7) その他学長が必要と認めた者

第4条 (任 期)

前条第2号から第5号までの委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、委員が任期満了前に欠けた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5条 (委員長)

- 1 専門委員会に委員長を置き、教務部長がその任にあたる。
- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した副委員長がその職務を代行する。

第6条 (会 議)

- 1 定例会は、原則として毎月開催する。
- 2 臨時会は、委員長が必要と認めたときに開催する。

第7条（議 事）

- 1 専門委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ、議事を開くことができない。
- 2 専門委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

第8条（代理者）

- 1 第3条第2号から5号までの委員に事故あるときは、それぞれの部門から代理者を出席させることができる。
- 2 前項の代理者は、欠席の委員が指名する。
- 3 前項の代理者は、委員とみなす。

第9条（委員以外の者の出席）

委員長が必要と認めるときは、専門委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

第10条（部 会）

- 1 委員長が必要と認めるときは、部会を置くことができる。
- 2 前項の部会は、委員長から指名された委員をもって構成し、委員長から依頼された事項について協議し、その内容を委員会に報告する。

第11条（委員会）

- 1 専門委員会は、必要に応じて、当該専門委員会に属する委員会を設けることができる。
- 2 前項の委員会に関する細則は、別に定める。

第12条（事 務）

専門委員会の事務は、教務課において処理する。

第13条（改 定）

この規程の改定は、全学教授会の意見を聴いて常務理事会が決定する。

- 付 則
- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
 - 2 この改定規程は、平成27年4月1日から施行する。
 - 3 この改定規程は、平成28年4月1日から施行する。